



Nipponham Group  
人輝く、食の未来



2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年2月2日

上場会社名 日本ハム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2282 URL <http://www.nipponham.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 畑 佳秀  
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員経理財務部長（氏名） 長谷川 佳孝（TEL）06-7525-3042  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け説明会）

（百万円未満四捨五入）

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		事業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	953,239	5.6	44,130	0.5	50,237	13.2	36,778	32.8	36,747	28.9	36,545	22.7
2021年3月期第3四半期	902,988	△5.2	43,914	11.9	44,370	32.8	27,691	15.2	28,511	19.2	29,779	17.7
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭				円 銭							
2022年3月期第3四半期	359.45				359.36							
2021年3月期第3四半期	277.57				277.50							

（注）事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	902,437	471,693	460,925	51.1
2021年3月期	825,405	444,309	433,595	52.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	94.00	94.00
2022年3月期	—	—	—		
2022年3月期（予想）				100.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		事業利益		税引前当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,180,000	0.3	48,000	△8.4	43,000	△12.0	30,000	△8.0	293.62

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2022年3月期3Q	102,958,904株	2021年3月期	102,958,904株
2022年3月期3Q	677,028株	2021年3月期	784,890株
2022年3月期3Q	102,231,251株	2021年3月期3Q	102,712,930株

(注) 期末自己株式数には、役員向け業績連動型株式報酬制度の導入により採用した役員報酬BIP信託が保有する当社株式 (2022年3月期3Q 137,759株、2021年3月期140,663株) が含まれており、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。また、信託型従業員持株インセンティブ・プランの導入により、期末自己株式数には、日本ハム・グループ従業員持株会専用信託が保有する当社株式を含めております (2022年3月期3Q 507,300株、2021年3月期608,600株)。また、同信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、さまざまな要因によってこれら予想や計画とは大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控え下さい。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(6) 継続企業の前題に関する注記 .....	12
(7) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
1. セグメント情報 .....	12
2. 会計方針の変更 .....	13
3. 追加情報 .....	13
補足資料 .....	補1～補6

※ 当社は、2022年2月2日（水）にアナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については本日 T D n e t で開示するほか、当社ホームページにも掲載いたします。

※ 上記説明会のほかにも、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定などについては、当社ホームページをご確認ください。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### 業績全般の状況

当第3四半期のおわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、持ち直しの動きがみられるものの、足下では変異株による感染の再拡大が懸念されています。

当業界におきましては、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の長期化により、特に外食需要の減退による業務用商品の低迷の継続や、原材料の世界的な需要増と穀物市況の高騰によるコストの上昇など、先行き不透明な状況ではありますが、一部では回復傾向が見られるなど、明るい兆しも出てきております。

このような中、当社グループは、「2030年の目指す姿」として掲げたニッポンハムグループ「Vision2030」「たんぱく質を、もっと自由に。」の実現に向けたマイルストーンとして2021年4月からスタートした「中期経営計画2023」において、4つの経営方針「収益性を伴ったサステナブルな事業モデルへのシフト」「海外事業における成長モデルの構築」「新たな商品・サービスによる、新しい価値の提供」「ビジョン実現に向けたコーポレート機能の強化」に基づく事業展開を推進してまいりました。当第3四半期におきましては、国内では、引き続き新型コロナウイルス感染症対策の徹底により安定供給体制を維持するとともに、新たな生活様式の定着やSDGsの達成を目的としたESGなどの社会課題への意識の高まりを背景として、環境変化に柔軟に対応するための調達、生産、物流、営業体制の継続強化を図りました。加えて、「疲労感の軽減」と「記憶力の維持」をサポートする機能性表示食品「IMIDEA（イミディア）」の発売やD2C（Direct to Consumer）の取り組みなど新規領域へのチャレンジ、2023年の新球場開業を見据えた北海道プロジェクトや、経営基盤強化のためのDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進などに取り組みました。海外では、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑えるための対応策を講じるとともに、国内への安定供給に向けた調達先の確保に努めました。グループ横断の施策については、「Vision2030」「たんぱく質を、もっと自由に。」の実現に向けたグループ従業員への周知活動や「中期経営計画2023」の各種施策に連動したKPIマネジメントによるROI経営の推進、「ニッポンハムグループ・コーポレートガバナンス基本方針」に沿って、その充実に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、対前年同期比5.6%増の953,239百万円となりました。事業利益は対前年同期比0.5%増の44,130百万円、税引前四半期利益は対前年同期比13.2%増の50,237百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は対前年同期比28.9%増の36,747百万円となりました。

#### セグメントの概況

当社は、第1四半期連結累計期間より、新たな事業領域への拡充を図る目的で、球団事業及び新規事業などを「その他」に区分して開示しております。

##### (加工事業本部)

ハム・ソーセージ部門の売上げにおいては、主力の「シャウエッセン」の拡販や、SNSを活用した広告を投入したことで若年層顧客の獲得を図りましたが、新型コロナウイルス感染症の影響をカバーできず、量販チャンネル向けは前年を下回りました。業務用チャンネル向けについては、感染状況が落ち着いたことによる需要増により前年を上回りました。歳暮商戦においては、ブランドギフトが堅調に推移し、市場並みに推移しましたが、歳暮ギフト全体の売上げは前年を下回りました。

加工食品部門の売上げにおいては、主力の「石窯工房」がスナック需要の拡大により大きく伸長したことや、常温で保存可能な新商品「あじわいレンジ」の上乗せなどにより昨年の新型コロナウイルス感染症の影響をカバーし、量販店チャンネル向けが増加しました。さらにエキス・一次加工品を含む業務用チャンネル向けの売上げも回復し、売上げは前年を上回りました。

乳製品部門の売上げにおいては、主力の「バニラヨーグルト」が好調に推移したことに加え、業務用チーズの外食チャンネルや食品メーカー向けが伸長したことにより、前年を上回りました。

水産部門の売上げにおいては、ダイスサーモンを中心とした自社工場製品や寿司種の拡販に努めたことにより、量販店チャンネル向けが好調に推移したことに加え、寿司店を中心とした外食チャンネル向けも伸長し、前年を上回りました。

加工事業本部全体の利益につきましては、原材料価格や燃料費などが想定を上回る急激な上昇となったことに加え、数量増加に伴う労務費の上昇やDX構築に向けた先行費用が増加したことで減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の加工事業本部の売上高は対前年同期比1.5%増の382,846百万円、事業利益は対前年同期比11.8%減の14,133百万円となりました。

#### (食肉事業本部)

販売部門においては、緊急事態宣言の解除により、外食・卸売向け市場が回復の兆しを見せ、また、輸入品を中心に調達価格が上昇する中、販売価格への反映に向けて商談を実施しましたが、量販店を中心とした内食需要において消費者の節約志向が継続し、減益となりました。そのような状況の中、外食・ドラッグストアへの提案強化や、羊肉の食文化普及に向けた報道向けセミナーの開催、リブランディングした国産牛肉「玄米牛」の積極提案などにより、販路や利益の拡大に努めました。

調達部門においては、主要調達国の内需拡大・労働力不足、世界的な輸送費の上昇・コンテナ不足、入船の遅れなどにより、商品調達に混乱が生じました。このような状況の中、「たんぱく質の安定供給による食生活への貢献」に向け、ウルグアイ産ビーフをはじめとした第三国からの商品調達や様々な調達手段を駆使しつつ安定供給の継続に努めました。また、国産牛肉・豚肉・鶏肉の輸出における販路・アイテムの拡大にも取り組んだ結果、利益を確保いたしました。

生産部門においては、防疫体制を徹底し、内部コストの改善や、自社処理工場の稼働率向上などに取り組みましたが、飼料相場高騰の影響を受け、減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の食肉事業本部の売上高は対前年同期比3.6%増の522,693百万円、事業利益は対前年同期比5.9%減の30,460百万円となりました。

#### (海外事業本部)

アジア・欧州事業においては、加工品販売がアセアンで昨年並み、中華圏では減少したものの、トルコでの鶏肉販売や英国での食肉輸出が好調に推移したことにより、売上げは前年を上回りました。利益につきましては、タイでの加工品原料高や中華圏での販売数量減少による減益が発生したものの、トルコでの販売価格の高値維持による収益増の影響により、増益となりました。

米州事業においては、米国での豚肉輸出数量や量販店での加工食品の販売数量、チリやメキシコでの豚肉輸出数量が順調に推移したことにより、売上げは前年を上回りました。利益につきましては、米国での輸出用豚肉原料価格や加工食品原料価格の高値維持により、減益となりました。

豪州事業においては、オーストラリアでの牛集荷頭数に苦戦する中、輸出および内販ともに販売価格が好調に推移し、ウルグアイは中国向け販売が順調に推移したことにより、売上げは前年を上回りました。利益につきましては、オーストラリアでは牛集荷価格の高値が継続しましたが、販売価格が好調に推移したことや工場稼働の効率化に取り組んだ結果、増益となりました。ウルグアイでも中国向け販売などの高値継続により、増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の海外事業本部の売上高は対前年同期比17.4%増の199,323百万円、事業利益は対前年同期比575.5%増の2,209百万円となりました。

#### (その他)

球団事業である北海道日本ハムファイターズにおいては、2021年レギュラーシーズンをパシフィック・リーグ5位で終えました。新型コロナウイルス感染症による入場者数の制限により、観客動員数は低迷しましたが、感染症対策の徹底で主催試合を開催できたことにより、売上げ、利益ともに前年を上回りました。来シーズンは新たに新庄監督を迎え、今後のキャンプを通じて新チームを作り上げ、引き続き感染症対策を講じながら万全の態勢で来シーズンの開幕を迎えられるよう、取り組んでまいります。

中央研究所で取り組んでいるヘルスサポート事業においては、国内では、「食品開発展 2021」に出展し、機能性食品素材や食品検査キットの紹介を行うなど積極的な販売促進活動を行いました。また、健康食品においては、自社のECサイトにおいて機能性表示食品「IMIDEA(イミディア)」の発売を開始しました。海外では、台北で開催された「BIO Asia-Taiwan2021」に出展し、機能性食品素材の紹介やオンライン商談を実施しました。

新規事業においては、将来の環境変化を見据えた新たな成長領域への取組みを加速し、具体的な事業化を推進するとともに、グループの挑戦する風土の醸成にもつなげるため、4月1日より新規事業推進部を新

設し、新たな顧客層の獲得に向けた商品、サービスの検討を進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のその他の売上高は対前年同期比 20.1%増の 11,361 百万円、事業損失は 208 百万円（前年同期は 805 百万円の事業損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

《財政状態》

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べ現金及び現金同等物が 23,877 百万円、使用権資産が 3,973 百万円それぞれ減少しましたが、営業債権及びその他の債権が 62,287 百万円、棚卸資産が 18,509 百万円それぞれ増加したことなどにより、前期末比 9.3%増の 902,437 百万円となりました。負債については、前期末に比べ未払法人所得税が 8,077 百万円減少しましたが、有利子負債 24,094 百万円、営業債務及びその他の債務が 30,513 百万円それぞれ増加したことなどにより、前期末比 13.0%増の 430,744 百万円となりました。なお、有利子負債は 217,844 百万円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は前期末に比べ 27,330 百万円増加の 460,925 百万円となり、親会社所有者帰属持分比率は 1.4 ポイント減の 51.1%となりました。

《キャッシュ・フロー》

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益 50,237 百万円、営業債務及びその他の債務の増加 30,809 百万円などがありましたが、営業債権及びその他の債権の増加 62,610 百万円、棚卸資産の増加 18,640 百万円、法人所得税の支払額 20,193 百万円などにより、5,293 百万円の純キャッシュ減となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産等の取得 34,862 百万円などにより、30,449 百万円の純キャッシュ減となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、現金配当 9,610 百万円、借入債務の返済 38,809 百万円などがありましたが、短期借入金の増加 36,719 百万円、借入債務による調達 23,024 百万円などにより、11,695 百万円の純キャッシュ増となりました。

これらの結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物残高は、前期末に比べ 23,877 百万円減少し、59,954 百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、2021年5月10日の「2021年3月期決算短信」にて公表した見通しから変更はありません。

### 将来に関する記述等についてのご注意

この決算短信に記載されている計画や業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは事業等のリスクを含む様々な要因によって、この決算短信に記載されている計画や予想と大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えください。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	83,831	59,954
営業債権及びその他の債権	127,067	189,354
棚卸資産	107,906	126,415
生物資産	23,581	29,753
その他の金融資産	15,082	11,866
その他の流動資産	8,561	9,506
流動資産合計	366,028	426,848
非流動資産		
有形固定資産	325,629	340,590
使用権資産	38,362	34,389
生物資産	1,314	1,255
無形資産及びのれん	10,608	13,811
持分法で会計処理されている投資	9,011	10,248
その他の金融資産	35,796	36,916
繰延税金資産	26,056	24,773
その他の非流動資産	12,601	13,607
非流動資産合計	459,377	475,589
資産合計	825,405	902,437
(負債及び資本の部)		
流動負債		
有利子負債	59,322	106,951
営業債務及びその他の債務	98,983	129,496
未払法人所得税	9,748	1,671
その他の金融負債	25,290	30,253
その他の流動負債	35,822	33,778
流動負債合計	229,165	302,149
非流動負債		
有利子負債	134,428	110,893
退職給付に係る負債	14,543	14,701
その他の金融負債	683	714
繰延税金負債	581	567
その他の非流動負債	1,696	1,720
非流動負債合計	151,931	128,595
負債合計	381,096	430,744
資本		
資本金	36,294	36,294
資本剰余金	71,240	71,267
利益剰余金	320,577	347,776
自己株式	△ 3,532	△ 3,050
その他の包括利益累計額	9,016	8,638
親会社の所有者に帰属する持分	433,595	460,925
非支配持分	10,714	10,768
資本合計	444,309	471,693
負債及び資本合計	825,405	902,437

(注) その他の包括利益累計額の内訳  
 その他の包括利益を通じて  
 公正価値で測定する金融資産  
 在外営業活動体の換算差額

前連結会計年度末  
 9,954  
 △ 938

当第3四半期連結会計期間  
 10,298  
 △ 1,660

## (2) 要約四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2020年4月1日 ～2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2021年4月1日 ～2021年12月31日)
売上高	902,988	953,239
売上原価	735,006	782,920
販売費及び一般管理費	120,048	123,942
その他の収益	2,773	4,628
その他の費用	7,587	4,713
金融収益	1,410	692
金融費用	1,121	2,908
持分法による投資利益	961	6,161
税引前四半期利益	44,370	50,237
法人所得税費用	16,679	13,459
四半期利益	27,691	36,778
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	28,511	36,747
非支配持分	△ 820	31
四半期利益	27,691	36,778
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	277.57円	359.45円
希薄化後1株当たり四半期利益	277.50円	359.36円



## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (2020年10月1日 ～2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月1日 ～2021年12月31日)
売上高	329,504	349,874
売上原価	265,610	287,343
販売費及び一般管理費	41,857	42,838
その他の収益	892	3,192
その他の費用	6,363	2,528
金融収益	468	300
金融費用	47	1,516
持分法による投資利益(△損失)	△ 1,347	3,057
税引前四半期利益	15,640	22,198
法人所得税費用	6,763	5,117
四半期利益	8,877	17,081
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	9,035	17,143
非支配持分	△ 158	△ 62
四半期利益	8,877	17,081
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	88.24円	167.61円
希薄化後1株当たり四半期利益	88.21円	167.57円

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2020年4月1日 ～2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2021年4月1日 ～2021年12月31日)
四半期利益	27,691	36,778
その他の包括利益(△損失)		
純損益に振り替えられる ことのない項目		
確定給付制度の再測定	—	△ 3
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	1,570	402
合計	1,570	399
純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	457	△ 871
持分法適用会社におけるその 他の包括利益に対する持分	61	239
合計	518	△ 632
その他の包括利益(△損失)合計	2,088	△ 233
四半期包括利益	29,779	36,545
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	30,593	36,425
非支配持分	△ 814	120
四半期包括利益	29,779	36,545

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (2020年10月1日 ～2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月1日 ～2021年12月31日)
四半期利益	8,877	17,081
その他の包括利益(△損失)		
純損益に振り替えられる ことのない項目		
確定給付制度の再測定	—	△ 1
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	△ 150	△ 1,252
合計	△ 150	△ 1,253
純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	125	△ 62
持分法適用会社におけるその 他の包括利益に対する持分	222	230
合計	347	168
その他の包括利益(△損失)合計	197	△ 1,085
四半期包括利益	9,074	15,996
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	9,174	15,990
非支配持分	△ 100	6
四半期包括利益	9,074	15,996

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(2020年4月1日~2020年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額				合計		
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額	小計			
2020年4月1日残高	36,294	72,639	294,018	△ 173	—	7,178	△ 5,542	1,636	404,414	12,183	416,597
四半期利益			28,511					—	28,511	△ 820	27,691
その他の包括利益						1,564	518	2,082	2,082	6	2,088
四半期包括利益	—	—	28,511	—	—	1,564	518	2,082	30,593	△ 814	29,779
配当			△ 9,263					—	△ 9,263	△ 6	△ 9,269
自己株式の取得		△ 3		△ 3,564				—	△ 3,567		△ 3,567
自己株式の処分		△ 20		49				—	29		29
株式報酬取引		55						—	55		55
子会社の設立								—	—	2	2
その他		1						—	1	△ 17	△ 16
その他の包括利益累計額から利益剰余金への振替			△ 219			219		219	—		—
所有者との取引額等合計	—	33	△ 9,482	△ 3,515	—	219	—	219	△ 12,745	△ 21	△ 12,766
2020年12月31日残高	36,294	72,672	313,047	△ 3,688	—	8,961	△ 5,024	3,937	422,262	11,348	433,610

当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日~2021年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額				合計		
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額	小計			
2021年4月1日残高	36,294	71,240	320,577	△ 3,532	—	9,954	△ 938	9,016	433,595	10,714	444,309
四半期利益			36,747					—	36,747	31	36,778
その他の包括損失						△ 3	403	△ 722	△ 322	△ 322	89
四半期包括利益	—	—	36,747	—	△ 3	403	△ 722	△ 322	36,425	120	36,545
配当			△ 9,604					—	△ 9,604	△ 6	△ 9,610
自己株式の取得				△ 2				—	△ 2		△ 2
自己株式の処分		△ 37		484				—	447		447
株式報酬取引		64						—	64		64
その他		0						—	0	△ 60	△ 60
その他の包括利益累計額から利益剰余金への振替			56		3	△ 59		△ 56	—		—
所有者との取引額等合計	—	27	△ 9,548	482	3	△ 59	—	△ 56	△ 9,095	△ 66	△ 9,161
2021年12月31日残高	36,294	71,267	347,776	△ 3,050	—	10,298	△ 1,660	8,638	460,925	10,768	471,693

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2020年4月1日 ～2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2021年4月1日 ～2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	44,370	50,237
減価償却費及び償却費	25,448	27,122
減損損失	5,883	1,166
生物資産の公正価値変動額	△ 1,046	△ 586
金融収益及び金融費用	△ 289	2,217
営業債権及びその他の債権の増減	△ 48,547	△ 62,610
棚卸資産の増減	7,872	△ 18,640
生物資産の増減	△ 541	△ 6,362
その他の資産の増減	△ 4,184	△ 2,571
営業債務及びその他の債務の増減	19,784	30,809
その他の負債の増減	△ 6,834	△ 2,175
その他—純額	1,232	△ 4,092
利息の受取額	260	228
配当金の受取額	2,368	1,006
利息の支払額	△ 856	△ 849
法人所得税の支払額	△ 10,196	△ 20,193
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,724	△ 5,293
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産等の取得	△ 44,698	△ 34,862
固定資産等の売却	289	416
定期預金の増減	252	4,023
その他の金融資産の取得	△ 167	△ 66
その他の金融資産の売却及び償還	580	162
その他—純額	△ 320	△ 122
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 44,064	△ 30,449
財務活動によるキャッシュ・フロー		
現金配当	△ 9,268	△ 9,610
短期借入金増減	△ 6,528	36,719
借入債務による調達	48,683	23,024
借入債務の返済	△ 28,526	△ 38,809
非支配持分からの出資	2	-
自己株式の取得	△ 3,567	△ 2
自己株式の売却	29	434
その他—純額	△ 16	△ 61
財務活動によるキャッシュ・フロー	809	11,695
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 32	170
現金及び現金同等物の増減額	△ 8,563	△ 23,877
期首現金及び現金同等物残高	72,399	83,831
四半期末現金及び現金同等物残高	63,836	59,954

## (6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (7) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

## 1. セグメント情報

報告セグメントに関する情報

当社グループは、主として商品及び提供するサービスの性質に加えて販売又はサービスを提供する地域に応じて以下の3つの報告セグメントに区分し、経営管理を行っております。

- 加工事業本部 — 主に国内におけるハム・ソーセージ、加工食品、水産物、乳製品の製造・販売
- 食肉事業本部 — 主に国内における食肉の生産・販売
- 海外事業本部 — 主に海外子会社におけるハム・ソーセージ、加工食品、食肉及び水産物の生産・製造・販売

当社は、第1四半期連結累計期間より、新たな事業領域への拡充を図る目的で、球団事業及び新規事業等を「その他」に区分して開示しております。

また、第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの業績をより適切に反映させるため、売上高の算定方法を変更しております。

なお、当社グループは当社及び子会社79社、関連会社8社で構成されております。

前第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）

（単位：百万円）

	加工事業 本部	食肉事業 本部	海外事業 本部	その他	計	消去 調整他	連結
売上高							
外部顧客に対する売上高	357,308	453,287	84,641	7,137	902,373	615	902,988
セグメント間の内部売上高	19,839	51,136	85,111	2,320	158,406	△ 158,406	-
計	377,147	504,423	169,752	9,457	1,060,779	△ 157,791	902,988
セグメント利益（△損失）	16,021	32,384	327	△ 805	47,927	△ 4,013	43,914

当第3四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）

（単位：百万円）

	加工事業 本部	食肉事業 本部	海外事業 本部	その他	計	消去 調整他	連結
売上高							
外部顧客に対する売上高	362,396	474,639	105,946	8,944	951,925	1,314	953,239
セグメント間の内部売上高	20,450	48,054	93,377	2,417	164,298	△ 164,298	-
計	382,846	522,693	199,323	11,361	1,116,223	△ 162,984	953,239
セグメント利益（△損失）	14,133	30,460	2,209	△ 208	46,594	△ 2,464	44,130

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、球団事業及び新規事業等であります。

2. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去他が含まれております。

3. 全社費用及び特定の子会社の純損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告セグメントに配賦しております。これらの子会社は、各報告セグメントに含まれる当社グループのために間接的なサービス及び業務支援を行っております。

4. 「セグメント利益（△損失）」は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

5. 前第3四半期連結累計期間について、当第3四半期連結累計期間のオペレーティング・セグメント情報に基づき、組替えを行っております。

前第3四半期連結会計期間(2020年10月1日～2020年12月31日)

(単位:百万円)

	加工事業 本部	食肉事業 本部	海外事業 本部	その他	計	消去 調整他	連結
売上高							
外部顧客に対する売上高	133,298	163,852	29,838	2,326	329,314	190	329,504
セグメント間の内部売上高	7,343	16,397	28,669	803	53,212	△ 53,212	-
計	140,641	180,249	58,507	3,129	382,526	△ 53,022	329,504
セグメント利益(△損失)	9,573	14,123	△ 175	△ 454	23,067	△ 1,076	21,991

当第3四半期連結会計期間(2021年10月1日～2021年12月31日)

(単位:百万円)

	加工事業 本部	食肉事業 本部	海外事業 本部	その他	計	消去 調整他	連結
売上高							
外部顧客に対する売上高	132,253	174,923	40,068	2,330	349,574	300	349,874
セグメント間の内部売上高	7,593	17,941	31,472	795	57,801	△ 57,801	-
計	139,846	192,864	71,540	3,125	407,375	△ 57,501	349,874
セグメント利益(△損失)	7,136	12,651	1,581	△ 639	20,729	△ 851	19,878

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、球団事業及び新規事業等であり  
ます。

2. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去他が含まれております。

3. 全社費用及び特定の子会社の純損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告セグメントに配賦しております。  
これらの子会社は、各報告セグメントに含まれる当社グループのために間接的なサービス及び業務支援を行  
っております。

4. 「セグメント利益(△損失)」は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが  
定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

5. 前第3四半期連結会計期間について、当第3四半期連結会計期間のオペレーティング・セグメント情報に  
基づき、組替えを行っております。

## 2. 会計方針の変更

該当事項はありません。

## 3. 追加情報

新型コロナウイルス感染症の影響については、当該感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮  
定について重要な変更は無く、当第3四半期連結累計期間の影響は軽微と判断しております。ただし、  
今後の状況変化によっては、翌四半期連結会計期間以降の財政状態、経営成績に重要な影響を与える  
可能性があります。

2022年3月期第3四半期

補 足 資 料

日 本 ハ ム 株 式 会 社

2022年2月

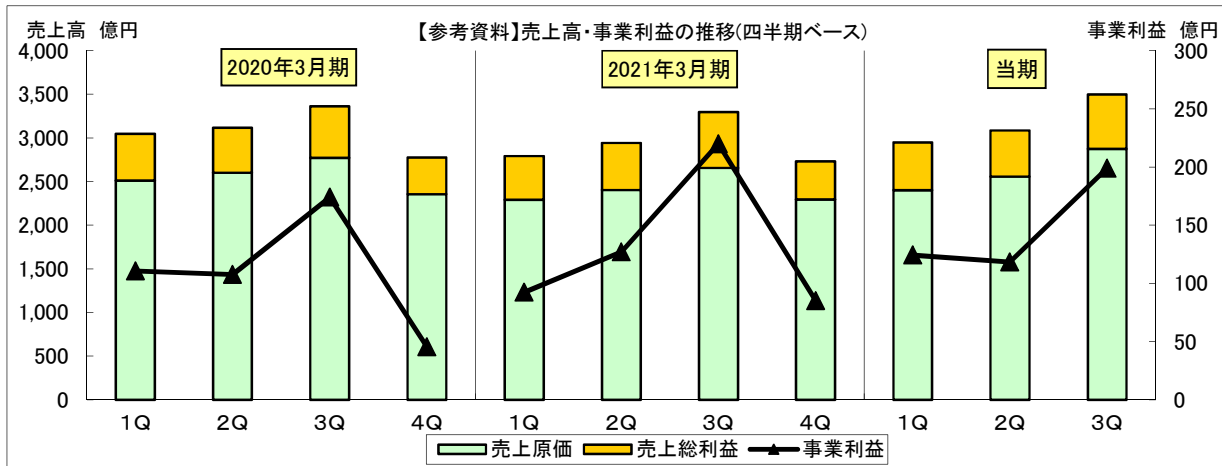


I ハイライト情報

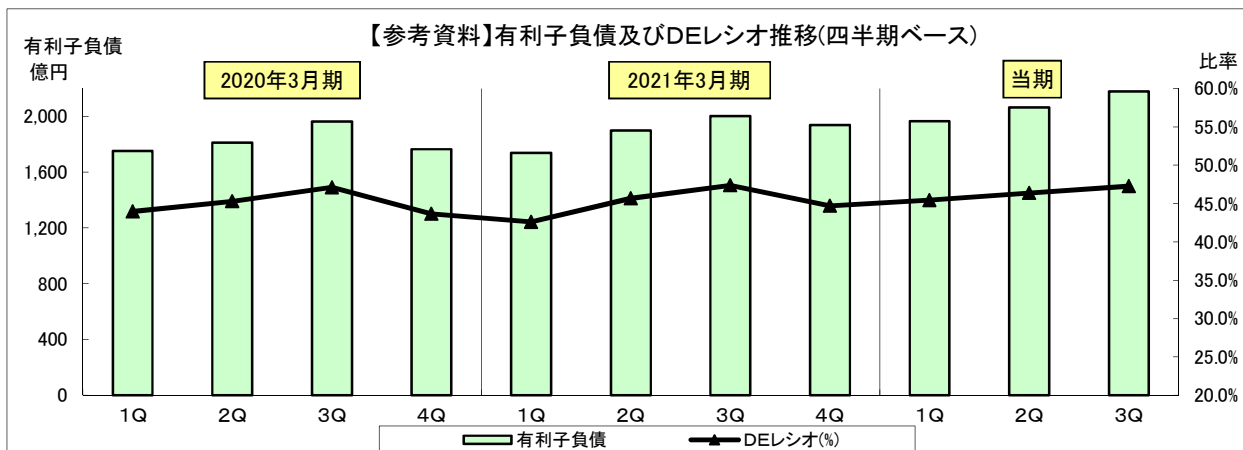
《連結決算》

(単位：百万円)

	2020年3月期 第3四半期 (実績)	2021年3月期 第3四半期 (実績)	2022年3月期 第3四半期 (実績)	対前年同期 増減率	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (計画)
売上高	952,306	902,988	953,239	5.6%	1,176,101	1,180,000
売上総利益	163,643	167,982	170,319	1.4%	211,734	
事業利益	39,239	43,914	44,130	0.5%	52,426	48,000
税引前四半期(当期)利益	33,400	44,370	50,237	13.2%	48,874	43,000
親会社所有者帰属持分 四半期(当期)利益	23,927	28,511	36,747	28.9%	32,616	30,000
売上高総利益率	17.2%	18.6%	17.9%		18.0%	
売上高事業利益率	4.1%	4.9%	4.6%		4.5%	4.1%
親会社所有者帰属持分当期 (四半期)利益率(ROE)	5.9%	6.9%	8.2%		7.8%	6.8%
投下資本利益率(ROIC)	4.6%	4.9%	4.6%		5.9%	5.1%



	2020年3月期第3 四半期(実績)	2021年3月期第3 四半期(実績)	2022年3月期第3 四半期(実績)	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (計画)
総資産	813,164	827,019	902,437	825,405	
親会社所有者帰属持分	416,379	422,262	460,925	433,595	
有利子負債	196,196	199,993	217,844	193,750	
D / E レシオ	0.47	0.47	0.47	0.45	
設備投資額	30,410	54,034	44,167	82,902	81,500
減価償却費	24,545	25,301	27,057	33,939	36,000



## II セグメント情報

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2020年4月1日～2020年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (2021年4月1日～2021年12月31日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
加工事業本部						
外部顧客に対する売上高	357,308	94.7%	362,396	94.7%	5,088	1.4%
セグメント間の内部売上高	19,839	5.3%	20,450	5.3%	611	3.1%
売上高合計	377,147	100.0%	382,846	100.0%	5,699	1.5%
セグメント利益	16,021	4.2%	14,133	3.7%	△ 1,888	△ 11.8%
食肉事業本部						
外部顧客に対する売上高	453,287	89.9%	474,639	90.8%	21,352	4.7%
セグメント間の内部売上高	51,136	10.1%	48,054	9.2%	△ 3,082	△ 6.0%
売上高合計	504,423	100.0%	522,693	100.0%	18,270	3.6%
セグメント利益	32,384	6.4%	30,460	5.8%	△ 1,924	△ 5.9%
海外事業本部						
外部顧客に対する売上高	84,641	49.9%	105,946	53.2%	21,305	25.2%
セグメント間の内部売上高	85,111	50.1%	93,377	46.8%	8,266	9.7%
売上高合計	169,752	100.0%	199,323	100.0%	29,571	17.4%
セグメント利益	327	0.2%	2,209	1.1%	1,882	575.5%
その他						
外部顧客に対する売上高	7,137	75.5%	8,944	78.7%	1,807	25.3%
セグメント間の内部売上高	2,320	24.5%	2,417	21.3%	97	4.2%
売上高合計	9,457	100.0%	11,361	100.0%	1,904	20.1%
セグメント損失	△ 805	△ 8.5%	△ 208	△ 1.8%	597	—
消去調整他						
売上高	△ 157,791		△ 162,984		△ 5,193	
セグメント利益	△ 4,013		△ 2,464		1,549	
連結						
売上高合計	902,988	100.0%	953,239	100.0%	50,251	5.6%
セグメント利益	43,914	4.9%	44,130	4.6%	216	0.5%

(注) セグメント利益(△損失)は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (2020年10月1日～2020年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2021年10月1日～2021年12月31日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
<b>加工事業本部</b>						
外部顧客に対する売上高	133,298	94.8%	132,253	94.6%	△ 1,045	△ 0.8%
セグメント間の内部売上高	7,343	5.2%	7,593	5.4%	250	3.4%
売上高合計	140,641	100.0%	139,846	100.0%	△ 795	△ 0.6%
セグメント利益	9,573	6.8%	7,136	5.1%	△ 2,437	△ 25.5%
<b>食肉事業本部</b>						
外部顧客に対する売上高	163,852	90.9%	174,923	90.7%	11,071	6.8%
セグメント間の内部売上高	16,397	9.1%	17,941	9.3%	1,544	9.4%
売上高合計	180,249	100.0%	192,864	100.0%	12,615	7.0%
セグメント利益	14,123	7.8%	12,651	6.6%	△ 1,472	△ 10.4%
<b>海外事業本部</b>						
外部顧客に対する売上高	29,838	51.0%	40,068	56.0%	10,230	34.3%
セグメント間の内部売上高	28,669	49.0%	31,472	44.0%	2,803	9.8%
売上高合計	58,507	100.0%	71,540	100.0%	13,033	22.3%
セグメント利益 (△損失)	△ 175	△ 0.3%	1,581	2.2%	1,756	—
<b>その他</b>						
外部顧客に対する売上高	2,326	74.3%	2,330	74.6%	4	0.2%
セグメント間の内部売上高	803	25.7%	795	25.4%	△ 8	△ 1.0%
売上高合計	3,129	100.0%	3,125	100.0%	△ 4	△ 0.1%
セグメント損失	△ 454	△ 14.5%	△ 639	△ 20.4%	△ 185	—
<b>消去調整他</b>						
売上高	△ 53,022		△ 57,501		△ 4,479	
セグメント利益	△ 1,076		△ 851		225	
<b>連結</b>						
売上高合計	329,504	100.0%	349,874	100.0%	20,370	6.2%
セグメント利益	21,991	6.7%	19,878	5.7%	△ 2,113	△ 9.6%

(注) セグメント利益 (△損失) は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

## 【参考情報～海外事業本部の内訳】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2020年4月1日～2020年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (2021年4月1日～2021年12月31日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
アジア・欧州						
外部顧客に対する売上高	16,934	39.3%	19,274	40.3%	2,340	13.8%
セグメント間の内部売上高	26,209	60.7%	28,597	59.7%	2,388	9.1%
売上高合計	43,143	100.0%	47,871	100.0%	4,728	11.0%
セグメント損失	△ 552	△ 1.3%	△ 6	△ 0.0%	546	—
米州						
外部顧客に対する売上高	15,236	23.2%	19,205	25.5%	3,969	26.1%
セグメント間の内部売上高	50,391	76.8%	56,053	74.5%	5,662	11.2%
売上高合計	65,627	100.0%	75,258	100.0%	9,631	14.7%
セグメント利益	2,377	3.6%	1,070	1.4%	△ 1,307	△ 55.0%
豪州						
外部顧客に対する売上高	52,471	84.1%	67,468	86.4%	14,997	28.6%
セグメント間の内部売上高	9,942	15.9%	10,622	13.6%	680	6.8%
売上高合計	62,413	100.0%	78,090	100.0%	15,677	25.1%
セグメント利益 (△損失)	△ 783	△ 1.3%	1,837	2.4%	2,620	—

(注) セグメント間取引の消去があるため、オペレーティング・セグメント情報の「海外事業本部」とは一致しません。

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (2020年10月1日～2020年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2021年10月1日～2021年12月31日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
アジア・欧州						
外部顧客に対する売上高	5,841	41.7%	6,962	41.2%	1,121	19.2%
セグメント間の内部売上高	8,152	58.3%	9,938	58.8%	1,786	21.9%
売上高合計	13,993	100.0%	16,900	100.0%	2,907	20.8%
セグメント利益 (△損失)	△ 247	△ 1.8%	88	0.5%	335	—
米州						
外部顧客に対する売上高	4,980	21.9%	6,617	26.0%	1,637	32.9%
セグメント間の内部売上高	17,794	78.1%	18,818	74.0%	1,024	5.8%
売上高合計	22,774	100.0%	25,435	100.0%	2,661	11.7%
セグメント利益	519	2.3%	417	1.6%	△ 102	△ 19.7%
豪州						
外部顧客に対する売上高	19,017	85.2%	26,490	87.7%	7,473	39.3%
セグメント間の内部売上高	3,311	14.8%	3,711	12.3%	400	12.1%
売上高合計	22,328	100.0%	30,201	100.0%	7,873	35.3%
セグメント利益 (△損失)	△ 207	△ 0.9%	1,308	4.3%	1,515	—

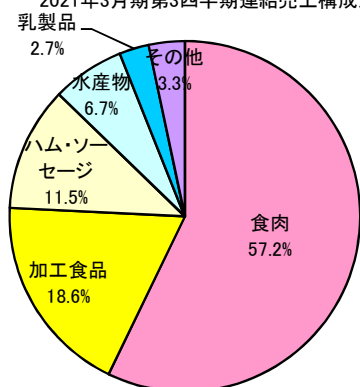
(注) セグメント間取引の消去があるため、オペレーティング・セグメント情報の「海外事業本部」とは一致しません。

### Ⅲ 連結売上内訳

(単位：百万円)

	2021年3月期 第3四半期 (実績)		2022年3月期 第3四半期 (実績)		対前年同期 増減率	2021年3月期 (実績)		2022年3月期 (計画)	
		構成比		構成比			構成比		構成比
ハム・ソーセージ	103,649	11.5%	102,663	10.8%	△ 1.0%	132,425	11.3%	124,400	10.5%
加工食品	168,070	18.6%	177,583	18.6%	5.7%	223,585	19.0%	219,000	18.6%
食肉	516,166	57.2%	549,662	57.7%	6.5%	672,880	57.2%	688,000	58.3%
水産物	60,520	6.7%	63,231	6.6%	4.5%	76,853	6.5%	75,300	6.4%
乳製品	24,661	2.7%	26,002	2.7%	5.4%	31,967	2.7%	32,100	2.7%
その他	29,922	3.3%	34,098	3.6%	14.0%	38,391	3.3%	41,200	3.5%
合計	902,988	100.0%	953,239	100.0%	5.6%	1,176,101	100.0%	1,180,000	100.0%

2021年3月期第3四半期連結売上構成比



2022年3月期第3四半期連結売上構成比

